

平成28年度第10回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成29年2月23日（木） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

いよいよ学習指導要領の改訂に向けて、その内容が2月14日にパブリックコメントとして出されています。小・中学校の部分だけで百数十ページになりますので、改定のポイントを皆さんにお渡ししています。3月末までには示されることになります。

次に、村山地区教育懇談会についてです。井上委員と一緒に参加しています。各市町から英語教育をどう取り組むかについて話し合われました。天童市として話したのは4点です。1つには、グローバル化に対応した教育とは、単に英語を話せることだけでなく、いじめや不登校への対応、また、特別支援教育の考え方に通底する、多様性を認め合い、お互いを尊重する教育の一貫、すなわち人格の形成という大きな視点が大事。2つには、その大きな柱として英語教育の充実に取り組むとしても、英語検定を受けましようとした場合に受験会場は隣の市に行ってください、では問題が残ると考えていることです。3つには、小学校における英語教育を充実させるためには、ALTの増員配置が必要であること。4つには、学校にも中国や韓国の子が入っている中、英語だけでなく他の国の言語や習慣に触れること、多様性を求めてグローバル化の意味を生活に密着したものにすることが大事ではないかと話をしてきました。県の教育委員会からも興味を示していただきました。

次に、「網走オホーツク流氷まつり」に教育次長さんと一緒に参加してきました。5つ感じたことがあります。1つには、盛大な歓迎に驚き、天童市では不可能ではないかと思いました。北海道の流儀だということです。2つには、天候に恵まれ、またタイミングよく美しい流氷に巡り合えて、有意義な体験をしました。3つには、インバウンドのすごさです。流氷を見る船がほぼ満員状態の中、日本語を聞くと懐かしいと思うくらいにアジア系の外国人がたくさんいたことです。4つには、中川イセさんの偉大さを改めて認識したことです。5つには、天童市の豊かさを感じたことです。ふるさと納税で天童市はすごいですねと言われ、返礼品として豊富なフルーツや生産物など天童市には様々なものがあることに再認識したところです。

これから教育が変わっていく中で、私たちの役割が重要となっていくので、これからもよろしくお願いいたします。

<議 事>

議第22号 平成28年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒の褒賞について
<可決する>

審議経過

委員： ティーボール競技とはどういったものですか。

天童南部小のチームですが、他の学校にもいるようですが。

事務局： 野球競技のようなものですが、投手がいない状況で、ホームベース上に立てた筒状の棒の先端にボールをのせてバットで打つものです。

干布地域と荒谷地域には野球スポーツ少年団がないため、天童南部小学校を主体としているスポーツ少年団に所属しているようです。

< 議 事 >

議第23号 平成28年度教育委員会所管3月補正予算（第8号）について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第24号 平成29年度教育委員会所管予算について

< 可決する >

審議経過

委員： 学校教育の中では、単に英語を学ぶだけでなく国際感覚を育てることが基本であると考えます。それらを踏まえて英語教育を進めていただきたいと考えています。

舞鶴山の発掘調査をしているようですが、遺跡の案内表示については、見やすい工夫をしてほしいと考えています。

事務局： 来年度から5年間で天童古城の発掘調査を行う予定で、その後は報告書に基づき案内看板を設置することで観光にも繋げていければと思っています。舞鶴山は個人所有地が多く、どこまで調べることができるのか課題があります。

委員： 教職員の健康診断について、不祥事が全国ニュースで見えるので、子ども達に影響がないように、教職員に対する心身の研修会等も計画してもらえればと思います。

事務局： 市での予算化はありませんが、県教育委員会主催のものや共済組合の相談窓口があり、対応してもらっています。また、5年以内の若い教職員に対する服務研修を計画しています。

委員： 英語教育のパワーアップの部分で、ALTの増員とありますが、人材確保する場合の方法はどのように行っているのか。

以前ALTの経験があり天童市にいる方を知っているため、そ

のような人を採用はできるのかどうか。

事務局：本市はこれまでもJETという紹介機関を通して任用しています。信用性の高い団体ですので今回も同様にしていく予定です。

JETを介して採用した場合に、様々な問題が発生してもそのフォローが確立されており、安心であると考えていますので、フリーの方の採用は考えていません。

委員：ICT活用について、支援者を依頼することになっているが、寺津小の先生方が手法を身に付けて、他校に反映できるようになると市内全体が向上していくと考えます。

給食に異物が入っていたようで、素早い対応をしていただきましたが、食材の確認方法について伺いたい。

事務局：ICTの支援員は山形県教科書供給所に委託し、毎日ではないが来ていただいて支援してもらうものです。機器の課題もあり新年度にはより良い機器を導入し、支援を受けながら教員のレベルアップも図り寺津小学校での研修も計画しています。

給食の異物は、調理している人の昼食に発見され、同じ製造日のものが小学校の給食と同じであることから、水際で給食の停止を行ったところでした。食材を投入する際に目で確認、完成後の試食などで安全の確保を図っています。

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

教育長：他には無いようですので、第10回教育委員会会議を終了します。